

平成 27 年度第 2 回松阪市立鎌田中学校校舎改築事業基本計画等策定委員会会議録

日 時 平成 27 年 6 月 19 日 (金)
午後 6 時 05 分 開始
午後 8 時 10 分 終了
場 所 鎌田中学校 1 階会議室

出席委員

委員長	小 松	尚
副委員長	高 橋	秀 敏
委員 (代理者)	山 本	嘉
委員	平 生	尚 美
委員	鈴 木	逸 郎
委員	岩 田	雅 昭
委員	橋 爪	敏 昭

事務局

教育施設担当監兼教育施設マネジメント室長事務取扱	永 田	正 仁
教育施設マネジメント室主査	池 内	正 樹
株式会社 都市研究所スペース取締役 計画室長	浅 野	健
名古屋大学大学院生	3 名	

【内 容】

1. 第 1 回策定委員会会議録について
2. ワークショップの検討について
3. その他

事務局	ただいまより、第２回松阪市立鎌田中学校校舎改築事業基本計画等策定委員会を始めさせていただきます。 それでは進行について委員長よりお願いいたします。
委員長	本日は、７月２６日（日）に開催を予定する校舎改築事業に係るワークショップについて、模擬的にこの策定委員会で行ってみて、実際のワークショップの進め方などを確認したいと思います。 その前に、前回（第１回）の基本計画等策定委員会の会議録について、内容の確認をしたいと思います。 （議事録資料配布、事務局より説明） 次回より、委員会開催通知と併せて事前に会議録を配布し、委員会においては修正箇所等ある場合にご意見をいただく形としましょう。 議論に入る前に、今回の校舎建て替えに係る基本構想の将来的な土地利用計画として大学の授業の中でも関係校舎等配置について課題を出しています。また、研究室の学生に作ってもらった現状の模型がありますのでご披露させていただきます。 （1/500 鎌田中、第四小学校周囲模型をご覧いただき） 今回購入用地の確認（長栄軒敷地との兼ね合いの確認）。敷地を分断している水路や市道の確認等々。 平面図で見るよりもこういった立体で見るといろんな可能性を議論するのにイメージがしやすいと思います。（模型の校舎を動かし配置を換えてみる。） 今後、この模型も活用しながら議論して行きたいと考えています。 それでは、開催を予定するワークショップについて協議いたしましょう。

	基本構想や基本計画の策定については、主役はあくまで日常的に校舎を利用する地元や当該学校関係者であり、大学や行政は支援者となります。ワークショップにおいては、学校教育や地域活動を進めるうえで、まず何をしたいか、どのような活動をしたいのかなど多くの意見を取り出し、基本構想の検討に生かして行きたいと考えています。 ワークショップ冒頭に地域の方々にも、基本構想及び基本計画を進めるにあたっての方針確認と提案について、また、主役が誰であるのか、建て替えがゴールではなくて CS 活動を持続するには体制づくりが重要であることなど繰り返し説明をします。理解を深めていただければと思っています。 まず、初めに 30 分程度でこういった説明と参考となる他市の活動事例等の紹介を行いたいと考えています。 ワークショップの意見抽出においては、①やりたいこと、活動、②誰が、(主役は)、③活動をする上での困りごとや課題といった順序で約 1 時間程度の意見交換をし、その後 30 分程度で各グループの発表としたい。 約 50 人程度の参集予定ですので、1 グループ 5 人～6 人とし、8～10 グループぐらいで考えています。 最後に総括を行い、全体で約 2 時間半程度の時間枠を考えています。 皆さん、ご意見等いかがですか。
委員	生徒の参加を考えると意見抽出、発表については 16 時にはちゃんと終了するような時間設定でお願いしたい。 また、中学生だけでなく、小学生高学年の参加もお願いできればと思います。
委員長	小学生高学年の参加については、学校との調整もあるかと思いますが、グループの割り振り等も含め、人数等 CS 理事の皆様にお任せいたしますのでよろしくお願いいたします。 また、各グループのリーダーについても地域の皆様において検討をよろしくお願いします。
委員	今後、地域や学校より参加者を取りまとめ、リストを作成する

委員長 (各委員)  	ので、参加者が決定次第、検討します。 それでは、当日の進め方の確認も含め、模擬的なワークショップをいまから委員の皆様で実際に行いたいと思います。 (予行練習として模擬的なワークショップ 約 40 分) 付箋に意見の書き出し→約 5～10 分程度 ・何がしたいのか、どのような活動をしたいのか。 ・したいことリストを作成するイメージ。なるべく簡潔に。 ソフト（活動）の意見を抽出し、施設に求める機能的なものや空間的なものについては、今後、構想を具体化する中での議論となるので現段階ではあまり出さないでください。 ・活動の主体は誰であるのか。 ・活動の支障となるもの。 ・課題はなにか。 最後の発表について、思っているより時間がかかると思われるので、少し発表の時間を多く配分しては・・・。
委員長	こういった形で進めて行きましょう。 また、地域との情報共有が非常に重要なこととなるので、ワークショップの開催をきっかけとして、さらに今後、地域への情報発信を行っていきましょう。どのような手法で行いますか。
委員	学校単位でコミュニティ・スクール通信があるので、そういったものや、ニュースとして自治会の回覧板として回していただくよう自治会長さんにお問い合わせするとかできると思います。 あと、学校 HP の利用などによる情報発信等々あります。
委員長	早めの情報提供を行うことで、地域としっかりとした情報共有ができればと思います。 説明がしやすいような WS のダイジェスト的なものを作成することも検討します。 また、当日のマスコミ対応など、情報としてどこまで提供していいのかについて、教育委員会で精査しておいてください。 前回策定委員会でも出ていましたが、視察については、コミュ

	ニティ・スクール活動や運営を通して校舎改築等に生かしてきている先進地事例が良いと思いますので、その実際の活動について懇談会とかを亀山市やいなべ市の学校関係者や地域の方々等々にお願いしてみます。 最後に、次回ワークショップ終了後に、30 分程度時間をいただいて、ワークショップの振り返り（反省会）を少し行い、その次の策定委員会の日程について相談しましょう。 以 上
--	---